

# Message from Newly Appointed Outside Directors

新任社外取締役メッセージ



## 石黒 美幸 社外取締役

1991年に弁護士になり、今年で32年目となります。

弁護士としての主な専門分野は企業法務であり、その中でも金融取引やキャピタルマーケットと言われる国内外の資本市場を通じた上場企業の資金調達の案件に数多く携わっております。

企業法務を通じて、コーポレート・ガバナンスの設計や評価、開示にも携わってまいりました。また、内部統制や監査体制の構築に関する経験も豊富に積んでまいりました。野村ホールディングスの社外取締役として、これらの知見を活かし、野村グループのコーポレート・ガバナンスの向上に向けた取り組みをサポートできると考えております。

野村グループには、日本における証券業界のトップランナーとして、常にお客様に頼りにされる存在であり続けてほしいと願っております。

そのための課題としては、従来型の営業スタイルが急速に変化していく中で、ネット世代にも訴求力があり、競争力を持ったサービスを迅速にお客様に提供できる体制を整備することが重要であると考えております。

## 石塚 雅博

社外取締役

公認会計士として、米国会計基準や国際会計基準を採用するグローバル日本企業の会計監査等に30年強(うち6年の米国駐在含む)従事し、グローバル日本企業の成長に応じた態勢強化にさまざまな形で携わってまいりました。

また、最後の直近6年はデロイトトーマツグループのリスク管理責任者等として、環境変化に適応する最新のリスク管理手法による態勢構築等に従事してまいりました。

折しも監査法人と証券会社は、キャピタルマーケットのゲートキーパーと称され、規制当局やマーケットからは特別な監視が入っております。そのような中で、監査法人と、証券会社を中核としたグループでの成長には、時に自律的なあるいは多眼的な検討が必要になります。世界環境で緊張感が高まり、かつ急激に変化する中で、野村グループとしてのESGを踏まえた「責任ある行動」とは何かを一緒に考えていきたいと思っています。

野村グループは、グローバル・キャピタルマーケットを主戦場とする日本の証券系金融グループとしては、国内で確固たる基盤を築いています。今後は、デジタルやテクノロジー領域などの中長期的な成長分野の強化を通じ、グローバル・メジャー・プレーヤーへのさらなる進化を遂げていくことが重要だと考えます。

